



【お知らせ】

28. 10. 15

統合幕僚監部

日米韓参謀総長級会談共同プレス発表

統合幕僚長河野克俊海将は、米統合参謀本部議長ジョセフ・ダンフォード大将の招待を受け、10月14日、米国防総省において韓国合同参謀本部議長イ・スンジン大将とともに3ヶ国による会談に参加した。

ダンフォード統合参謀本部議長とともに、米太平洋軍司令官ハリー・ハリス大将及び米韓連合軍司令官ヴィンセント・ブルックス大将も参加した。

日米韓の参謀総長級による本会談は、2014年7月以来3回目であり、増大する北朝鮮の核及びミサイルの脅威に対応するための3ヶ国による協力について議論した。

3者は、北朝鮮により強行された今年2回目となる9月9日の核実験や、累次の弾道ミサイル発射等について意見を交換した。

3者は、北朝鮮によるこれらの行為が国連安保理決議の深刻な違反であることを再確認し、このような北朝鮮の行為に対し相互に協調し、断固として対応することで一致した。また、3者は北朝鮮が「地域の緊張を高める無責任な挑発行為を慎み、国際的な責務及び約束を履行すること」を求めた。

ダンフォード統合参謀本部議長は、日韓両国の防衛や、通常兵器、核兵器、ミサイル防衛を含めたあらゆる軍事的能力によって保証される拡大抑止の提供に対する、米国の揺るぎないコミットメントを再確認した。

3者は、地域の平和と安定を強化するため、相互の安全保障問題に対し、さらなる協力を継続して行っていくことで一致した。



米韓連合軍司令官
ヴァインセント・ブルックス大将

韓国合同参謀本部議長
イ・スンジン大将

米統合参謀本部議長
ジョセフ・ダンフォード大将

統合幕僚長
河野克俊海将

米太平洋軍司令官
ハリー・ハリス大将